

令和5年5月12日

futbol y vida

Poco a poco ...
Poco a poco ...



超久しぶりのインターハイ都大会は都狛江と!!
二次トーナメント進出へ勇往邁進する!!

インターハイ都大会初戦は、格上(T4)の都狛江に決定!! 13日10:00ko

“New K’s football style”で、勇猛果敢に攻めて全力で挑む!!

インターハイ予選代表決定戦でICUに勝利し都大会出場を決めた二日後に関東大会東京都決勝戦が行われ、修徳高校が粘る実践学園に**2-1**で勝利して18年ぶりに関東大会出場を決めました。おめでとうございます。今年の関東大会は、東京が会場になるので、是非、修徳&実践旋風を巻き起こして、強い東京のチームを印象付けられるように、関東大会“優勝”を目指して頑張ってください。同じ会場でインターは都大会の組み合わせ抽選会が行われ片倉高校の初戦の対戦相手は同じ都立の狛江高校に決まりました。



<超久しぶりのインハイ都大会に挑む!!>

現在、狛江高校はT4リーグに所属しています。この十年間でサッカー部の立ち位置はすっかり逆転されてしまいました。しかし、日頃、狛江高校とはTRMやGKクリニックで選手の交流があるだけに、今回の公式戦での対戦はとても楽しみです。

超久しぶり（10年以上?）のインターハイ都大会出場ですが、この冬の鍛錬期と春休みの遠征の成果、インターハイ予選の反省、その後のTRMの結果を活かし、8月末からスタートする選手権予選に繋がる闘いになるように、今大会では新チームになって尚培ってきたことを、自信を持って勇敢にプレーしたいと思います。

また、予選で闘った三チームからは試合後激励の言葉をチームスタッフだけではなく選手たちから頂きました。もちろん「敗れた彼らのために」という言葉が相応しいとは思いませんが、彼らの思いをしっかりと受け止めて、都大会出場チームとして闘います。

尚、インターハイ都大会は四支部を勝ち上がった全39チームとシード校の計**56チーム**を16ブロックに分けて一次トーナメントを行います。二つ勝って二次トーナメントに進出できるようにまずは初戦の狛江高校戦に全力で臨みます。



<苦しんだ分成長もした予選トーナメント>

「評価」とは他人が下すもの、自分でするものではない!!

二年前のを、やや改編しました

サッカー部では、毎回学校での活動後（他校に行ったときは更衣場所）に更衣室掃除やゴミ捨て、トイレのスリッパを並べるなどトレーニングの一環として自主的に行っています。グラウンドで大好きなサッカーは誰でもやります。本当に強いチームは**フラズα**のところをしっかりと取り組んでいます。厳しいことや面倒なことを避けるのは簡単ですが、敢えてそれに目を向けさせるようにしています。特に、学校に於いても公共の場について「**整える、きれいにする**」の意識は年々低くなっているように感じます。「自分のものではない、自分のゴミではない、何で自分が…」そういう声が聞こえてきます。もちろん、大人の責任重大ですよ。

禅語にある「**歩歩是道場**」とは、日常の生活や行動のひとつひとつが全て自分を鍛える道場のようなものであり、そして、人生そのものが「道場」であるという意味です。

「目の前に落ちているごみを拾え。ゴミに感謝しろ!!」と、**佐々木則夫氏**(元なでしこジャパン監督)の父親はよく言っていたそうです。「**人生に無駄なことはひとつもない!!**」これは、二年前のサッカー通信に載せた言葉です。三月に卒業したサッカー部のキャプテンは、この言葉に大変共感していて高校時代に実践してきたそうです。今時珍しい、でも素晴らしい生徒です。現在、彼は保育士を目指して勉強中。きっと、心優しい保育士になると信じています。

自分自身を成長させる「鍵」は、或るとき突然降ってくるものです。それに気付ける準備が普段からできているか否か？実は、日常生活の中にたくさんありいつでもどこでも謙虚な気持ちと心掛け次第で自分を高めるチャンスを見つけることができるのです。

また、ある物事の結果に対する「評価」とは、自分でするものではなく他人がしてくれるものです。「俺が、私が…〇〇〇〇頑張っている」と安易に口に出すことではありません。自分自身のために頑張るのは当たり前なことだと思っています。人のために自分は何ができるのか？身の回りにあることから始めてみたいものです。必ず自分に返ってきます。そして、周囲に応援されるようになるのです。



<スリッパが揃うと心が整う>



<厳しいこと苦しいことをともに乗り越えたからこそ共有できる真の喜び!!>

<After the Game>

早いもので、明日から**インターハイ予選都大会**がスタートします。代表決定戦から十日間という短い準備期間でしたが、その間、神奈川の高校や石神井高校との**TRM**、都大会以上の会場は全て人工芝グラウンドとなるので、急遽、立飛のフットサルコートを抑えたり、お隣日本工学院専門学校にお願いして二日間グラウンド（昨日は突然の雷雨で、人工芝グラウンドで助かりました）をお借りするなど、やるべき準備は全てやってきました。あとは子どもたちが公式戦という本番の舞台で勇気をもって持っている力を全て出してプレーができれば、結果は自ずとついてくるとスタッフ一同信じています。明日の天気予報では、南豊ヶ丘フィールドは雨模様です。何事も悪条件の中でこそ真の力が問われます。雨中のトレーニングがここで活かされるのです。

久々のインターハイ都大会で、**New K's football style**を披露し勝利を手繰り寄せます。